

「式 辞」

4月6日にスタートした1学期でしたが、新型コロナウイルスの影響で4月18日からの1ヶ月間、臨時休業でした。6月から2ヶ月間、通常の授業に戻ることができました。しかし、今までの学校生活とは異なり、様々な行事ができませんでした。特に皆さんが楽しみにしていた体育祭が中止になり、学級が団結する最高の舞台を失い、皆さんの失望は計り知れなかったと思います。

授業の時間が十分に取れず皆さんの学習に対する不安も大きかったと思います。先が見えないコロナの問題はストレスが溜まります。今月に入って感染者が減るところか急増して第2波が来ていることで心が折れそうになりどんどん気が滅入ってしまうのは皆さんだけではありません。先生方も毎日の生活にストレスを感じながら生活しています。早く今までの普通の生活に戻ってほしいと誰もが思っています。当たり前前の生活がいかに幸せであるかを思い知らされましたね。

でもコロナ問題で様々な面で不安に感じ、見えない未来に悲観的になっていても前進もなければ成長もありません。何でもかんでもコロナのせいにはしない自分でいてください。絶対にコロナに負けてはいけません。

先生方は、会議の時間が今までと比べて倍以上に増えています。なぜかと言うとコロナ問題で例年のように学校行事や授業ができない状況で、どうすれば生徒の皆さんのためになるか、どうすれば皆さんに充実した学校生活を送らせることができるかを時間をかけて、徹底的に話し合っているからです。

例えば、体育祭が中止になった皆さんのために何か代替りの行事ができないかと考え、2学期に学年ごとの球技大会を計画しています。1学期が延長され猛暑が予想されたために、熱中症にならないように何かできないかと考え、授業中に水分補給タイムを設けたり、クールタオルなどの利用を決めました。

そして今、一番頭を痛めていることがあります。それは、皆さんが楽しみにしている修学旅行や遠足そして合唱コンクールが、本当にできるかということです。いわき市内でも修学旅行や遠足を取りやめる中学校が出始めています。夏休みにコロナ問題が深刻になったら修学旅行や遠足をあきらめなければならないのか？皆さんのことを思うと先生方も心を痛めています。これとって楽しい行事がなかった1学期。だからこそ2学期は1学期と同じような日々を生徒の皆さんに味わせたくないと思うのです。校長先生のぶれない教育の信念は「生徒第一」です。生徒の皆さんの笑顔や充実した表情を見るために先生方も頑張れるのです。ですから、東中は絶対無理とならない限り、最後の最後まで修学旅行も遠足も合唱コンクールも諦めません。

先生方の熱い想いはこれくらいにして、今度は皆さんに問いかけます。

さて、皆さんはこの1学期、自分ができるベストのことをやって、自分に恥ずかしくない毎日を送ることができましたか？

何度も話してきたことですが、「今を精一杯生きる」。1学期を振り返って、あなたは「その時その時を、精一杯頑張ってきましたか？」

例えば、勉強はどうでしたか？ 「勉強が好きでたまらない」なんていう人は世の中に殆どいません。校長先生も中学生の頃、勉強が好きと思ったことはありません。でもそれよりも「自分に甘えて勉強をやらない自分」がそれ以上にもっと嫌いでした。本気になって勉強して成績が思ったように伸びなくても、そんな自分の方がはるかに好きです。これは勉強だけでなく、部活動や係活動でも言えることです。今できることを精一杯頑張ることは決して無駄にはなりません。むしろ、そういう自分を誇らしく思えるはずですよ。

次にクラスメートや友人との人間関係をどうでしたか？友達に対してひどいことを言ったりしませんでしたか？人に心ない言葉をかけたり人に思いやりを持っていない人は、自分に自信がないから人にあたって自分を上げようとしているのです。「周囲の人に優しく接することができる人」になってください。人として一番大切なことは、「心のきれいな人」になることです。

また、例年と違って、学校行事がなかったり、上級生と下級生の触れあう時間が少なかったりしたことで、どの学校でも1年生がまだ小学生気分で中学生になりきっていないという話をよく聞きます。上級生は1年生を2学期は育てていてください。そして1年生も中学生としての自覚を持って行動できるようにしてください。

最後に、皆さんに次の言葉を贈ります。「積小為大」。

さあどういう意味でしょう？考えてみてください。周りの人と話し合ってみてください。

これは二宮尊徳のことばです。「小さな努力の積み重ねなくして、大きな成功や発展には結びつかない」という意味です。

明日からの24日間の夏休み。もうすぐ梅雨が明けて暑い日が続きますか、3年生は「希望する進路の実現」、1・2年生は「勉強と部活動の両立」に向けて「積小為大」という言葉を忘れずに取り組んでください。

それでは2学期が始まる8月25日の始業式に全員が元気に笑顔で登校できることを期待し、式辞とします。